

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	甲南のぞみ保育園
代表者氏名（管理者）	園長 辻森 みさき
法人名	社会福祉法人甲南会
定員（利用人数）	160名
施設・事業所所在地	滋賀県甲賀市甲南町稗谷2838番地
T E L	0748-86-0878
F A X	0748-86-0740
電子メールアドレス	nozomi@kohnankai.jp
ホームページアドレス	http://kohnankai.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和6年11月27日 令和6年11月28日

### 3 評価の概要

#### ○ 総合評価

社会福祉法人甲南会『甲南のぞみ保育園』は、開園から29年目を迎える歴史を重ねてきた保育園です。甲南町希望ヶ丘住宅地の高台に位置し、園庭からは四季折々の豊かな自然風景が一望出来、子どもの感性を育む上で大変恵まれた環境にあります。

社会福祉法人として『甲南会は、安心・安全、よろこびを、追求します』を基本理念に掲げ、園児・保護者・地域住民・職員それぞれの「安心・安全、よろこび」を追求しています。保育基本目標は「明るく元気な子」「みんな仲良く」「粘り強い子」「ありがとうの言える子」「考え工夫する子」の5つの保育基本目標掲げ、日々職員と共に子どもの最善の利益を第一に考えた保育に取り組んでいます。

本園は、令和元年に滋賀県社会福祉士会による第三者評価を受審しています。その評価の際に当会から「改善が求められる点」として、①甲南のぞみ保育園の中・長期事業計画、②意見箱の設置や保護者への情報の周知方法の2点について記載しました。この5年間の事業運営の中で法人及び保育園として、確実に課題解消に向け取り組まれたことが、今回の第三者評価において確認出来ました。

特に法人事業計画の中に、甲南のぞみ保育園の中・長期事業計画の策定を明確に挙げて立案されています。少子高齢化・高度情報化・経済格差・自然災害・AIの普及・グローバル化とコロナ禍など、目まぐるしく変化していく時代の中で、甲南のぞみ保育園として設立当初より軸がブレない「子どもの最善の利益を追求し行動する風土」を大切にするというビジョンを明確にされました。今後は、このビジョンを大事にされた事業運営に取り組まれることを期待します。また、このビジョンを地域に向けて様々な媒体を使って公表していくことが、次の時代に向けて甲南のぞみ保育園が地域から信頼され、より必要とされる保育園に繋がると考えます。

#### ○ 特に評価の高い点

##### 1. 子どもたちの逞しさについて

甲南のぞみ保育園の「園庭を中心として子どもたちのやりたいことを大事にした保育」「思いのままに楽しく遊ぶこととリスクとのバランスを取りながらも、遊びから失敗と学びを繰り返して育つ子どもたちの逞しさ」を目の当たりにしました。また、園庭で数多くの遊具を使って遊び回る姿を見るにつけ、甲南のぞみ保育園が『園庭物語』と銘打って、子どもたちの伸び伸びとした育ちを大切にされていることを実感しました。

##### 2. 人材育成と定着への取組

法人として、人事考課の機会や、職員との個人面談・能力考課シートの活用などの

機会を通じて、働く職員の人財育成（キャリアアップの道筋）に繋げています。相談し易い職場環境を整え、ストレスチェックの実施、ブラッシュアップノート（自己評価）の活用など、職員の働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

### 3. 食育への取組について

園として年間の「食育計画」が策定されています。年間食育目標にあるように「おなかをすかせてたっぷり食べる子ども」、「よく噛んで美味しく食べる子ども」、「友達やいろいろな人と楽しく食べる子ども」等を掲げています。子どもたちは園庭でたっぷり体を動かすことでおなかをすかせ、食べる事への意欲に繋がっています。安全を第一にしながらも、「噛む育」への取組、噛み噛みメニュー・パクパクデー・夏野菜の収穫・秋刀魚炭火焼・お芋クッキング等々、実に多くの食育に繋がるメニューを揃えて、子どもの食べることへの興味を高めています。また、食事の時の食器の配置や食事の姿勢（足を床につけて姿勢を正す）、箸の使い方等、その方が美味しいと自然に思える関わりがなされています。

### 4. 保護者等の意向や相談の聞き取り方について

基本は子どもたちの登・降園時の送迎での保護者等とのコミュニケーションを図ることを大事にしています。更に、普段から何か聞きたいことがあれば、気楽に職員へ聞ける環境を設けています。また、年1回「園の取り組みに関する保護者アンケート」を実施しています。行事ごとのアンケート実施は良い方法です。アンケートの目的や集計結果を分析・検討して保護者へ開示しており、保護者と一緒に保育の改善に向けて取り組む姿勢が評価できます。

#### ○ 改善を求められる点

##### 1. マニュアル類の作成、見直しについて

園の運営上必要なマニュアル類は一定揃っていますが、整備されていないマニュアル（虐待対応マニュアル・子どものプライバシー保護マニュアルなど）もあり、策定することが必要です。また、職員が見たいときには、マニュアル類を確認できるよう整理しておくことが大事です。かつ、そのマニュアルを現場の職員と定期的に見直すことで、より保育現場に添った自分たちのマニュアルになっていくと思われます。

##### 2. 災害時における備蓄について

甲南のぞみ保育園は立地場所が高台にあることで、非常災害時には被災状況によってはがけ崩れや道路の寸断により、一定期間救援が来ない場合も想定されます。現在3日分程の保存食や飲料水を備蓄していると聞きましたが、状況によっては園周辺が孤立してしまう可能性もあ

ります。そのような場合は、逆に地域の住民や子育て世帯の方々が、福祉避難所として保育園へ避難されることも想定できます。万一の場合に備えて、一般的な備蓄品だけでなく子ども用オムツや離乳食等も必要になるかもしれません。その状況に備えるために、備蓄だけでなく発災時に園が地域に対してどのような役割を担っていけるのかを、行政や地域の民生委員・児童委員、自治会役員、近隣の住民も含めて検討していくことが必要だと思われま

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

令和元年度に第三者評価を受審させていただき、評価いただいた点や改善点を意識しながらより良い園づくりに取り組んでまいりました。まだまだ十分ではありませんが、課題解消に向けて取り組んできた内容を評価していただいたこと、また、保育としては子ども達が安心してのびやかに過ごしていると評価いただけたことについて、日々の努力や取り組みが報われたような思いで職員一同喜んでおります。これからの園運営や保育について自信を持って取り組んでいけたらと思います。

今回の評価の改善点として挙げていただいたように、地域との連携をさらに深め、防災力を高められるような取り組みを進めていこうと考えております。

5年間の間に、コロナ禍を経て少子化が加速し、ICT化も進みました。また、子どもを取り巻く環境も大きく変化していますので、評価項目のみにこだわらず、時代に合った子どもの育ちや幸せを守る園であるかを自己評価しながら、これからもより良い園づくりを職員みんなで進めていこうと考えております。